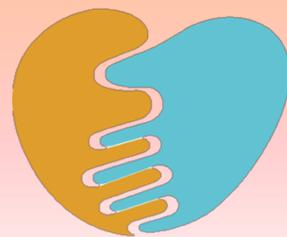


# さんいっく ジオだより

第 6 号



三陸ジオパーク推進協議会  
H26.2.18

## ガイド研修会が 開催されました

1月18日(土)、19日(日)の二日間に行われ、

ガイド研修会を開催しました。

北は八戸市、南は大船渡市から、現在ガイドをしている方、およびこれからガイドを目指す方々が総勢67名、宮古に集まりました。用意したコースは、「初級編」「上級編」「船頭編」の3コース。

各地で活動するジオガイドの皆さんが一堂に会し研修・交流する初めての機会でしたので、協議会でもはりきって濃密なカリキュラムを準備するとともに全国から強力な講師陣をお招きいたしました。



【初級編】

茨城県北ジオパークインタープリターの伊藤太久先生には、ジオパークの基礎について、判りやすい図や写真を使ってお話いただきました。



【初級編】

大船渡市立博物館の佐藤悦郎館長には、地学の基礎から講演していただきました。地元の研究者として三陸ジオパークの魅力をお話いただきました。



【初級編】

室戸ジオパーク(世界GP)の柴田伊廣地質専門員には、初級編でガイドの心得を、先事例を踏まえて講演していただきました。身体を動かしながら、物事を的確に伝えることの難しさを教えていただきました。



【上級編】

東北大学名誉教授永広昌之先生からは、三陸の大地の成り立ちについて、最新研究成果を交えながらの講義です。さすがは上級編、大学の講義レベルです。



【上級編】

山陰海岸ジオパークの松原典孝専門員から、世界ジオパークのジオガイド、広域的に活動するガイドの心得について、沢山の事例を紹介いただきました。

岩手県中核観光コーディネーターの草野悟さんにもお越しいただき、お客さんが満足するツアーコースを造るためのヒントを沢山お話しくださいました。経験豊富な方のお話しはとても含蓄があります。



【上級編】



【船頭編】

山陰海岸ジオパークの丹後御火浦ジオサイトで海上タクシーを営んでいる漁師、前田保さんにご自身の地元での取組について事例紹介をしていただきました。参加者の多くも漁師でしたので、あっという間に盛り上がりました。



【船頭編】

IBC 岩手放送の江幡平三郎東部支社長からは、魅力的なガイドシナリオの作り方を伝授いただきました。人を惹きつけるのはなかなか大変なことですが、参加者は江幡さんの話に、どんどん夢中になっていきます。そのテクニックを盗みましょう！



各コースとも講義中から盛り上がりを見せ、交流会も大変活発に情報交換できたようです。広い三陸、ガイドが一堂に会する機会はなかなかありません。

前田さんからいただいたお土産、いかのなれ寿司は大変美味しかったです。



2日目は、各コースとも演習です。ガイド方法や新たなコースづくりなどについて、自ら考え、企画し、発表しました。地元に戻ってから、これらの経験を活かして、日々のガイドに役立つことを期待します。



今回これだけ多くの、しかも異なる地域のガイドが顔を合わせたことで、今後のジオパーク推進や地元のジオガイド、ジオツアーに大きな恵みをもたらすことを期待しております。こうした研修会を来年度以降も定期的の実施していく予定ですので、またご参加ください。

また、2/28に南部地区（大船渡市）で開催予定。申込み希望は事務局まで。





### 【種差海岸】



種差海岸では、八戸がかつてなだらかな地形を利用した大規模な馬の放牧地であったことや、ウミネコの生態、無量神社の歴史など多岐に案内していただきました。参加者からは「豊富な知識の引き出しから玉手箱のように次の展開が飛び出すガイドさんの臨機応変さに驚かされた」との嬉しい感想をいただきました。

観光関係者の皆さんに三陸のジオツアーを体験していただきました！



1月13(月)～14(火)にかけて、旅行エージェントや旅行雑誌の編集者の方々に北部(八戸～宮古)のジオツアーに参加してもらいました。

寒い中、本当にありがとうございました。



### 【久慈駅周辺】



### 【久慈琥珀博物館】



久慈市では、あまちゃんロケ地を巡るジオツアーに参加いただきました。ドラマのエピソードを聞きながら久慈駅周辺のロケ地を巡り、小袖海岸ではロケ地の主要なポイントである灯台近くの夫婦岩についてその成り立ちなどをわかりやすく解説していただきました。

### 【小袖海岸】



2日目のスタートは、NPO体験村・たのはたネットワークの「サッパ船アドベンチャー」。厳冬期の乗船のため名前のとおりのアドベンチャーでしたが、参加者からは「文句無しに楽しめるプログラム。サッパ船を使うことで、通常の観光遊覧船とは違った目線で体験できることが最大の魅力」との高い評価をいただきました。また途中で船頭さんが自分のワカメ養殖場所を案内してくれると、ワカメ養殖を初めてみた参加者は大喜びでした。

### 【サッパ船アドベンチャー】



### 【学ぶ防災】



最後に、田老地区で被災地ツアーを行っている「学ぶ防災ガイド」に参加しました。ガイドのさんの真剣な語り、参加者からは「津波語部は他市町村でも活動しているが、学ぶ防災チームは、その中でも飛びぬけて素晴らしい」との高評価をいただきました。また、今後の発展形として、「コースプログラムの一つに、田老独特の地形による過去の津波被害やジオパーク的な要素を盛り込んだものを加えるのも魅力アップにつながる。」とのアドバイスもいただきました。

全体的に三陸ジオパークのジオツアーが多彩で魅力的であるという評価をいただきましたが、今回案内したツアーの中には少し厳しい評価をいただいたものもありました。参加者からの貴重な御意見は、各市町村を通じてガイド団体にフィードバックし、今後のツアー内容及びガイド手法の改善にそれぞれ役立てていただければと思っておりますし、協議会でも研修会の内容を一層充実させてまいります。



# ジオガイドと知事の懇談会を開催しました

12月12日、宮古市浄土ヶ浜レストハウスにおいて、県政懇談会「がんばろう！岩手」意見交換会が開催されました。同懇談会は、「震災からの復興」、「いわての未来を切り拓く」をテーマとして、地域の振興や活性化に取り組んでいる若者や女性、被災地の高校生と岩手県知事が懇談する機会です。今回は三陸ジオパークで活躍する6名のガイドさんと知事が三陸ジオパークの推進について活発な意見交換を行いました。

全体の話を聞いて、達増知事から「現在の観光ガイドの内容にジオサイトの知

ジオパークの資源をさまざまな産業や、市民活動、教育活動などに活用して、地域の方々の草の根レベルでのつながり、地域づくりに携わっていききたい。

ジオガイドとして漁師や酪農、震災語り部など様々な職業の方を育成し、観光客との交流をふやしていきたい。



識や情報を盛り込むことによって、楽しめるというようにするのがジオパークの肝であると思う。三陸は素材が全国有数であり、世界に通用する地形、地質、文化、伝統、美味しい食べ物があり、プラス被災地として見ていただくべきところ、聞いていただくべき話がたくさんあるはず。訪れる人の興味、関心に対応しながら、どう伝えていくのかという工夫が大事である」というコメントがありました。

出席したガイドさんは知事と直接お話ができて大きな刺激を受けていました。今後のガイド活動に活かしていったほしいと思います。

## 参加したガイドさん

- 實吉 義正さん  
(陸前高田市観光物産協会副会長)
- 三浦 達夫さん  
(釜石観光ボランティアガイド协会会长)
- 楠田 拓郎さん  
(NPO法人体験村「たのぼろ」ネットワーク事務局長)
- 田高正博さん  
(北三陸大地の恵み推進連絡会ジオパークガイド)
- 伊藤 栄利子さん  
(浄土ヶ浜ビジターセンターガイド)
- 佐々木 浩美さん  
(椿の里・大船渡ガイドの会ガイド)

## MENU!

今回のイチオシはこちら!

650えん

・恐竜の頭をイメージしてハンバーグやチーズで飾ったオムライスに、自家製のデミグラスソースを添えた子どもたちに大人気のメニューです!

## 勝手にジオ飯 認定委員会!!

いつも勝手に認定しちゃっています!

宮古市の浄土ヶ浜レストハウスでは、期間限定で特製の「恐竜オムライス」を提供しています。観光客が少なくなる冬場も浄土ヶ浜で楽しんでもらおうと、同レストハウスが展開する冬季限定のメニューの一つで、家族連れを中心に大好評とか。

一昨年、県立水産科学館の特別展「恐竜時代の海VS陸」とコラボして考案した「恐竜ランチ」で、特に人気が高かったメニューを昨年の11月に復活させたとのこと、ぜひご賞味ください。

県立宮古高等学校生物研究部が、ジオサイトのひとつ、三王岩（宮古市）の津波石（東北地方太平洋沖地震の津波によって移動した巨石）について研究発表をしました。

発表会は、平成25年12月13日（金）、県立総合教育センター（花巻市）にて開催された岩手県高等学校理科研究発表会。

## その結果、みごと**最優秀賞**を獲得しました!!

実は、彼らは、日本ジオパークの現地審査（平成25年8月）でも研究成果を発表しました。



津波石を動かした津波のモデル実験方法など、現地審査の審査員からの助言をもとに、その後実験を繰り返し、重さ200tと推定される津波石の移動経路や、動かした津波の流れについて、さらに研究を進展させていたのです。

今回の研究成果をガイドの内容に盛り込むために、彼らにはガイドへの指導も頼みたいところです。これからも三陸のジオ研究を担う若手の活動を応援します！



# 岩手大学 同門会講演会

1月11日（土）は、岩手大学教育学部地理学・社会科学教育研究室同門会の皆さんにお招きをいただき講演しました。沿岸の小学校の先生も多数出席されており、ジオパークを紹介するとともに、交流会では復興に向けた教育現場のお話を聞くことができました。とても貴重な機会となりました。

最近、学校の先生方に三陸ジオパークのお話をする機会が増えている気がするなあ…



また、1月27日（月）は、盛岡地区社会科教育研究会の研究授業の中で盛岡市立城北小学校の6年生児童と同研究会の先生合わせて約70名の皆さんに「あまちゃん」の景色から見た三陸ジオパーク」というテーマで短時間でしたがお話をさせていただきました。

一方、沿岸の中学校から三陸ジオパーク授業を行いたいのので協力してほしいという相談を受けており、各学校のご協力のもとに、今年から本格的に三陸各地でジオパーク授業を開始したいと思っておりますので、ご関心のある学校関係者の皆さんは協議会までご連絡をください。



# 希望郷いわて特別授業

～三陸ジオパークって何？～

YouTubeでいつでも見れます

↓ YouTube 岩手県のチャンネル (テレビ岩手チャンネル(公式)) ↓

<http://www.youtube.com/watch?v=x2aYctQnFuE>

生徒役には、特別ゲストの「さかなクン」と「きぬ」さん(岩手県出身)の2人の他に『三陸キッズ★ジオマスター(クイズ大会)』に出場した県内沿岸の小学生を中心に参加してくれました。

達増岩手県知事を校長先生役として、授業形式で子どもたちにジオパークを分かりやすく教えるという番組です。

私が校長の達増(岩手県知事)です。

先生役の岩手県立大学准教授(協議会学術専門委員)の伊藤です。ジオパークを説明します!

さかなクンからのプレゼント!



いろいろありますがどうキョゼいしました!

さかなクンの授業はやっぱりおもしろい♪  
久慈の小袖海岸を説明してくれました!!  
キョキョキョ?!



## 裏ジオサイト

岩泉町にある龍泉洞には隠れミッキーならぬ、隠れマリア像が存在したのです!!  
心の清い人なら、きっと見つけることが出来るはず!!  
鍾乳石が作り出した神秘的造形を是非探してみてください!!



また、番組内では『さかなクン』によるジオパークの特別授業もやっていただきました!  
さかなクン自身が絵を描き、身振り手振りを加えながらの説明で、久慈市小袖海岸の地形と魚の生態について、『じえじえええ』ならぬ『ギョギョギョ』な話術でその場にはいた大人から子ども全員を魅了していました!



### 編集長の独り言

先日県外の旅行エージェントさんをご案内して三陸ジオパークの各地のガイドを体験していただきました。その中で八戸の関下斉ガイドの種差海岸の案内が飛び抜けて面白かったです。さまざまな知識を自分の中で咀嚼し整理し自分の考えを入れながら語ってくれたり望遠鏡を準備して参加者に地質や野鳥を観察させたほか自らウミネコの鳴き方を全身で表現したりなど縦横無尽の活躍に参加したエージェントさんたちを唸らせていました。他地域のガイドさんもぜひ現地に行って関下さんのガイドを体験してみてください。

### 《ゆきだるまのつぶやき》

なんだかんだで今回の6号も盛り沢山な内容になりました。また、いろんな方から「ジオだより」を読んだという声を頂き、驚きと同時に嬉しくもあります。

### 三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町 1-20

宮古地区合同庁舎内

TEL : 0193-64-1230 FAX : 0193-64-1234

メール : [info@sanriku-geo.com](mailto:info@sanriku-geo.com)

URL : <http://sanriku-geo.com/>